

ポスト冷戦研究会例会 2012年12月15日(土曜日)午後1時30分～5時30分

専修大学神田キャンパス 1号館8階8C会議室

コメンテータ・話題提供 涌井秀行

藤村幸義・美土代研究会編著

『中国バブル経済のからくり』(勁草書房, 2012年)をめぐって

## I. 新生産様式の萌芽と「世界の工場」中国の歴史的位置

(1) インターネット生成史; インターネットの編成原理

アスキー社 homepage

<http://ascii.jp/elem/000/000/428/428741/index-2.html> (2012/11/28)

1964年リックライダー(J. C. R. Licklider)最初の着想“銀河間ネットワーク”

(Intergalactic Network)

1964年米空軍ランド(RAND; Research AND Development)戦略研究所のポール・バラン(Paul Baran)パケット通信方式公表

1965年英国立物理学研究所のドナルド・デービス(Donald Davies)パケット通信方式公表

1969年米国防省研究機関ARPA(Advanced Research Projects Agency)の下部機関IPTO(Information Processing Techniques Office)のロバート・テイラー(Robert Taylor: 統括責任者; 第3代部長)とローレンス・ロバート(Lawrence Roberts: 実施責任者)ARPAネットの計画を発表。ポイントは現在のルーターのような役割の小型コンピュータ(IMP: Interface Message Processor)開発・設置

1969年ARPANET(the Advanced Research Projects Agency's computer network)米4大学・研究所ネットワーク完成

1974年ヴィントン・サーフ(Vinton Gray Cerf)とロバート・カーン(Robert Elliot Kahn)TCP/IP(標準プロトコル)公表

1990年末に欧州原子核研究機構(CERN)のティム・バーナーズ・リー(Tim Berners Lee)ら「World Wide Web: Proposal for a Hyper Text Project」考案・発表

1995年マイクロソフトのInternet Explorerを搭載Windows 95発売

インターネット・プロトコル(TCP/IP)の生みの親であるヴィンセント・サーフやロバート・カーン、インターネットを構成するWWWの開発者のティム・バーナーズ・リー、ハイパーテキストを考案したテッド・ネルソン(Theodor Holm Nelson)、電子メールの考案者のレイ・トムリンソン(Ray Tomlinson)などインターネットの開発者たちは、仕様を公開し誰一人として権利(特許)を主張しなかったことである。なぜなら、これらの人々は、多くの関係者が新しい提案をインターネット上に公開し、問題点や解決策等を議論し、相互に批判・検討し合うことが、ソフトやネットワークの拡大・発展には必要不可欠であると認識していたからである。多くのネットワーク関係者が共通認識をもち、研究開発を進めなければ自身の研究はもちろん、全体の研究も進まないことを認識していたのである。さらにARPANETの生成に見られるように、実際の研究に直接かかわった人たちは、多くが若い大学院生など無名の人々であった。米国防省の下部機関のIPTOでさえ、

彼らに全権限を与えて自由な意見を尊重したのである。

## (2) アメリカ特許法

「アメリカ合衆国特許法，合衆国法典第 35 卷 (35 U.S.C.) —特許」，特許庁ホームページ  
[http://www.jpo.go.jp/shiryou/s\\_sonota/fips/pdf/us/tokkyo.pdf](http://www.jpo.go.jp/shiryou/s_sonota/fips/pdf/us/tokkyo.pdf) (12/11/19)

## 10 章 発明の特許性

第 100 条 定義・・・(a)「発明」とは，発明又は発見をいう。(b)「方法」とは，方法，技法又は手法をいい，既知の方法，機械，製造物，組成物又は材料の新規用途を含む。

第 101 条 発明は特許を受けることができる 新規かつ有用な方法，機械，製造物若しくは組成物，又はそれについての新規かつ有用な改良を発明又は発見した者は，本法の定める条件及び要件に従って，それについての特許を取得することができる。

==判例==

USPTO (The United States Patent and Trademark Office)Homepage,

[http://www.uspto.gov/web/offices/pac/mpep/old/E6R0\\_2100.pdf](http://www.uspto.gov/web/offices/pac/mpep/old/E6R0_2100.pdf) (12/11/19)

ディアディア事件 (Diamond v. Diehr, 450 U.S.175,209 USPQ 1(1981)) の判例，自然法則 (law of nature)、物理現象 (physical phenomena)、抽象的アイデア (abstract idea) 等については、いずれも特許対象に含まれない「科学的事実」や「数式」についても特許が与えられないことは、その他判例法上も確立した見方であった。これは、従来において、ソフトウェア工学の基本的な技術の大部分が特許可能性を有してこなかったことを意味している。資本は科学を創らない。

インターネットの編成原理→公開・非独占占有，【分散＝共有】

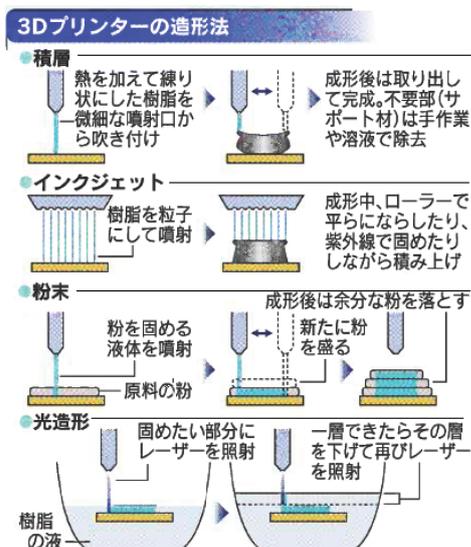


機械制大工業の編成原理→非公開・独占【集中＝独占】

## (3) アトムの世界とビットの世界

モノに囲まれた我々の世界

アトムの世界にもインターネットのネットの編成原理がかけられ始め、「共有＝分散」の原理が製造の世界の変容の兆し。



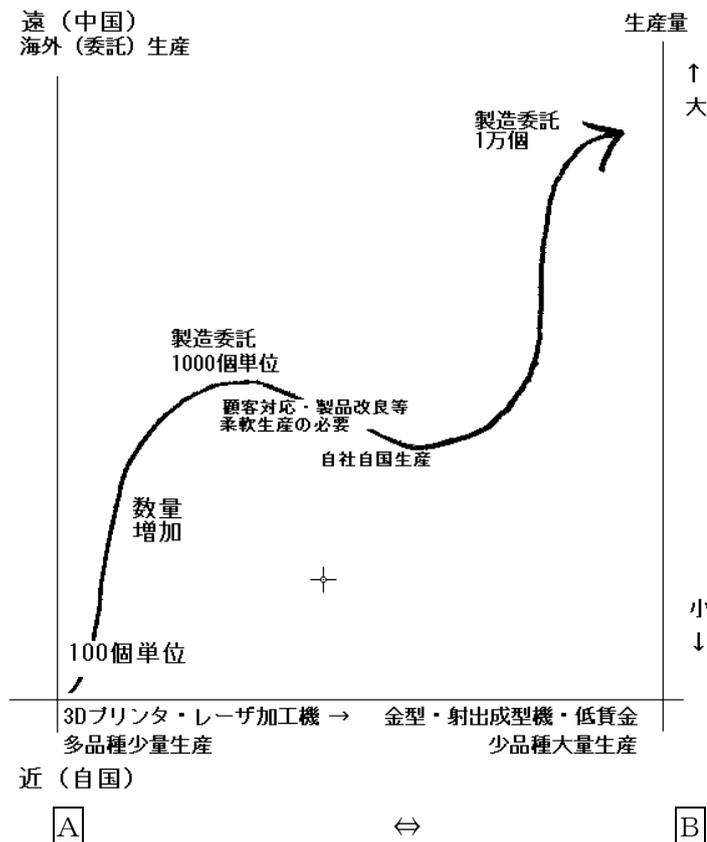
注記) 下記資料を転載。  
資料出所) 「日経産業新聞」2012年8月14日, 1頁。

①「3次元プリンター (3D ; three dimensions printer)」やレーザー・カッター (Laser Cutter) などである。3Dプリンターは、3D CAD (computer aided design) や3D CG (computer graphics) データを元に立体を造形する機器・装置  
生産方式による製造方法を「オープンソース・ハードウェア」方式  
===VTR (3D ; three dimensions printer) ===

現時点での利用状況

潜在的可能性=新「家内工業」デジカメ⇔イーストマンコダック倒産  
機械制大工業の宿命「大量生産=大量消費」打破の新生産様式の芽生え

(4) 「新生産様式の芽生え」と「世界の工場」中国



A

Spark Fun Electronics

「製品の大半が、修正可能なオープンソース・ハードウェアとしてデザイン・ファイル公開 (・・され・・) 実際にその多くは、顧客がデザインし、スパークファンのエンジニアが製造しやすいように改良したものだ。」〔クリス・アンダーソン, 関美和約『MAKERS』(2012年, NHK出版) 209頁。〕数千個単位の特殊な電子部品は採算に合う。

〔例〕電子部品 データ・ソース公開事例

Lily Pad Arduino USB - ATmega32U4 Board

Dimensions:

・50mm outer diameter ・ hin 0.8mm PCB

Documents:

・Schematic ・ Eagle Files ・ Datasheet (ATMega32U4) ・ Firmware Note ・ Arduino

Hardware Page ・ Arduino Quickstart Guide

<https://www.sparkfun.com/products/10274> (2012/12/10)

## **B** Foxconn Technology Group

フォックスコン・テクノロジー・グループ (鴻海科技集團, 富士康科技集團) は、電子機器の生産を請け負う電子機器受託生産 (EMS) では世界最大の企業グループ。本社・台湾生産拠点は主に中国。

労働力商品の価格性能比の「異常な時代」

「iPhone」の工場からの出荷価格は1台 数10ドル。組立工賃は1台あたり6.5~10ドル程度。iPhone5 (16G) ; 480ドル (日本円6万)



(5) 人類史上の現時点

## II. 中国資本主義の原始的蓄積段階をめぐって

### (1) 「第2部会員の討論 テーマ3 中国版「原蓄」と中国の資本主義化について」

「現代中国の場合、中枢基幹産業での近代的な「社会的生産手段」は私的資本家によって形成・確立されたわけでは決してなかったし、私的資本家の所有のもとに置かれたこともなかった。近代的な「社会的生産手段」は、国家によって巨大国有企業で確立されたので、自由に資本としての利潤追求・自己増殖の運動をするものとは言えない。それゆえ中国版「原蓄」の完了・近代的「社会的生産手段」の確立をもって、「中国資本主義の確立」とみなすことはできないと考えている。井村が「国家資金の原始的蓄積」と言い「国家資本の原蓄」と言わなかったのもそのためであろう。」(189頁, 北原発言)

別図 [3-1 図「冷戦体制としての中国「改革・開放」] を参照しながら

グラフの軌跡 外資/固定資本投資/貿易額/GDP (全) ⇔ 農業/1人当たり GDP

中国産業連関表 1997年

中国1997年	中間投入	民間消費	a固定資本形成	b輸出合計	最終需要	c総生産・需要	d輸入	e国産額	b+d/c	b/c	a/c	d/a
									貿易依存度	輸出依存度	aの総生産比率	aの輸入比率
農林漁業	1,618	1,250	72	49	1,427	3,045	-48	2,977	3.2	1.6	2.4	
I部門	6,589	507	851	845	2,318	8,906	-1033	7,805	21.1	9.5	9.6	121.4
機械器具	1,983	276	830	468	1,608	3,592	-578	2,995	29.1	13.0	23.1	69.6
一般器具	679	6	460	58	543	1,222	-212	992	22.1	4.8	37.7	46.1
電気 "	862	197	151	322	665	1,528	-267	1,261	38.6	21.1	9.9	177.1
輸送 "	364	68	207	37	338	702	-58	641	13.5	5.3	29.4	27.9
精密 "	79	6	13	50	62	141	-42	100	65.0	35.4	9.3	318.2
II部門	2,565	1,421	24	721	2,354	4,919	-285	4,686	20.5	14.7	0.5	
織 維	1,050	369	0	467	934	1,985	-145	1,854	30.8	23.5	0.0	
中間投入計	14,975	4,316	3,039	1,996	10,797	25,772	-1,539	24,107	13.7	7.7	11.8	
総 計	24,107											

資料出所) (1) 拙著『アジアの工場化と韓国資本主義』(文眞堂, 1989年)172-173頁.

- ① d/a (輸入額/固定資本形成) I部門 121.4% cf1965年日本 I部門 29.9%
  - ② 別図 外資導入額 固定資本投資 GDP (工業) ⇔ GDP (農業) 1人当たり GDP 原始的蓄積 2要素
- A 生産手段 国外依存 B 労働力 不完全な農民層分解 (盲流→民工潮) 農業の破壊  
英ノーフォーク (典型) 仏→農業の資本主義的「編成替え」農=工業連関「保持」



西欧流=近代化「工業化」⇔ アジアの「工場化」 「原蓄」を外資が代位=補完  
外生循環構造 外(上)からの資本主義発展 (20世紀末に残された資本主義発展の道)  
(アジア土地バブルとの関連)

(2) 中国の経済体制(構造)をどう規定するか。(小澤論文から学ぶ)

パンネクークによれば、ロシア革命は労働者階級の新しい組織であるソビエト=労働者評議会を生み出した点に最大の意義があったが、この革命は変質でも墮落でもなくロシアの後進性によって不可避免的にブルジョア革命に終わった、という。

[小澤光利『組織された資本主義』と『国家資本主義』(『経済志林』80巻2号)25頁]  
パンネクーク (小澤論文からの孫引き)

「ロシアで発展した生産様式は、国家社会主義である。それは、国家が普遍的な雇用者であり、生産機構の主人である、組織された生産である。労働者たちはそこでは、西欧資本主義の下における以上に、生産手段の主人ではない。彼らは賃金を受け取り、唯一の資本家(なんという巨大な!)である、国家から搾取されている。それゆえに、国家資本主義と

いう名を、この体制に与えることもできる。国を指導し統治する官僚階級の総体が、工場の真の所有者である。それが、所有者階級を形成する。そのメンバーたちは、事実、生産手段の所有者たちであり、ただ分割してではなく、各自が自分のものを要求する権利を持ちながら、しかし総体で共同して所有している。西欧やアメリカにおいてブルジョアジーが果たしている役割や任務、つまり産業や生産性を発展させるという役割や任務を果たしているのが彼らである。未開の農業国を文明化した近代的な、つまり大産業を持つロシアに変えたのは、彼らである」。

1939年 P. マティック 「評議会共産主義」(略)

1974年 C. ベトレーム 『ソ連における階級闘争』(仏語版初出, 1974年)

1979年 P. スウィージー 法政大学での講義

その彼スウィージーが、1979年の法政大学におけるレクチャーでは、「今日のソ連・中国はマルクスの意味における社会主義ではなく」、「国家社会(State Society)」と主張していた。この社会は次のように特徴づけられる。それは搾取社会であるが、競争の廃止により、ひとまず景気循環や中心対周辺の対立、周辺における貧困や退廃などはなくなり、一定の合理性をもって雇用・教育・福祉を実現するが、それが支配の条件でもある。しかし、それは権威主義的。抑圧的社会であって、そのため民族的冒険を煽るのであり、この社会を維持するためには生産性の上昇こそが死活問題である。耐えがたき矛盾と抑圧に満ちたこの社会は、その墓堀人を生み出すであろう。

P. M. スウィージー, 法政大学創立百周年記念講演 “Marxism today”

1979年 11月 5-9日最終第4講

1941年

ポロックによれば、・・・「国家資本主義」の「典型的類型」を「全体主義的形態」(ナチス/戦前日本; 涌井)と「民主主義的形態」(ケインズ=アメリカニューディール; 涌井)に分けるが、そのいずれも「私的資本主義」から区別(国家独占資本主義)される。というのは、(1)市場は、生産と分配を調整するその管理機能から退けられる。この機能は、直接的統制システムによって取って代わられる。貿易、企業および労働の自由は、それらが実際に廃棄されるほど強い政府の干渉に服従する。自律的市場と共にいわゆる経済諸法則は消失する。(2)これらの統制は国家に帰属し、国家は生産を規制し拡大して消費と調整するために、「疑似市場」を含む新旧諸装置の結合を用いる。すべての資源の完全雇用が経済分野における主要な達成として要求される。国家は平時の国家活動に引かれたあらゆる限界を突破していく。(3)国家資本主義の全体主義的形態の下においては、国家は新しい支配集団の権力的道具であるが、この集団は最も強力な既得権益集団、すなわち産業および事業管理におけるトップに位置する人々、(軍隊を含む)国家官僚の高官層そして勝利を収めた党官僚の指導的人々の融合からなる。この集団に属さないものはすべて、単なる支配の対象である。

1992年南巡講和 中国共産党第14回全人代「社会主義市場経済」建設テーゼ

3-1 図 「冷戦体制」としての中国「改革・開放」

